

例会報告

第2801回例会報告議事録

日時 令和7年10月7日(火曜日)

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」

ゲスト：千葉興業銀行 新店長 藤原奈緒之様

ビジター：なし

S.A.A.：小野会員

会長挨拶

柳田会長



非常に楽しい親睦例会がありまして、寄席を見てから、その後に上野の東天紅という不忍池が一望できて、バックにスカイツリーという、すごく素敵な風景を見ながら北京ダックをいただき、すごく優雅な時間を過ごすことができました。関根委員長、ありがとうございました。

日経平均株価がとんでもないことになっています。高市さんが総理大臣になるのかどうかというところで、それに平行して円安がまた大きく進み、どうな状況になってしまうのか今後の動きが非常に重要になると個人的には思っています。

私事でロールスロイスで余っちゃってるという話をしたのですが、おかげさまで輸出業者に買っていただき、無事、海外に飛んで行きました。20万位損をしましたが、20万で済みました。ご心配おかけしました。

ちょっと宗教っぽいのですが、うちに今度入る社員が挫けそうになった時にこんな語録を読んで頑張っているということで、非常にいい言葉なので皆さんと共有できたらなと思い、紙でお配りしました。

「正範語録」というものなのですが、読み上げます。

**実力の差は努力の差
実績の差は責任感の差
人格の差は苦勞の差
判断力の差は情報の差
真剣だと知恵が出る
中途半端だと愚痴が出る
いい加減だと言いつばかり
本気でするから大抵のことはできる
本気でするから何でも面白い
本気でしているから誰かが助けてくれる**

非常に個人的に響いた言葉なので、皆様と共有できればなと思って紙に刷って参りました。うちの会社はこれを貼り出して朝礼で皆で言おうよと話しています。武田信玄の由来と言われております。

今日は鈴木フェローが卓話をしてくださいます。よろしくお願いいたします。

柳田会長より寺井フェローへポール・ハリス・フェローのバッジ授与



寺井フェローより一言

立派なものをいただきました。年初にガバナー補佐がクラブでこれを多く取るようにとおっしゃっていた気がしたので、今回は頑張ってお取れるように出したつもりでした。取れてよかったです。名誉なことだと思って大事にします。ありがとうございました。



親睦委員会報告

関根委員長



先日は親睦例会へご参加いただきまして、ありがとうございます。本当に楽しい1日を過ごすことができました。

お誕生お祝いをさせていただきたいと思います。小池フェロー、おめでとうございます。前へお願いします。



小池フェローより一言

今日の15日で64歳になります。若い頃は60を過ぎると随分おじいちゃんだと思っていたのですが、いざ自分になってみると、まだまだこれからだなという感じがしております。

ロータリーでの皆さんとの触れ合いの中で若さが保っているのかなと思っています。これからも若さを保ちながら、気持ちだけは40代、体力は検討したいと思います。これからも仲良くお付き合いしていただければと思います。どうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。



続きまして、ご結婚のお祝いをさせていただきたいと思います。川村フェロー、おめでとうございます。



川村フェローより一言

ロータリーに入りまして初めて頂く結婚祝い40周年を迎えることができました。長いようで短いあっという間の40年でした。昭和60年10月3日が結婚式だったのですが、昭和60年というと、日航ジャンボ機墜落はあまり縁起のいい話ではありませんが、つくば科学万博が開催された年で、結婚式前に女房と行った記憶があります。ちょうど大阪で万博をやられていますが、40年あっという間に経ってしまったなと思います。

当時の結婚式は今とは全然違う結婚式で、仲人は立てるは、隣近所は呼ぶわ、村親戚は呼ぶわで、会ったこともないような人がいっぱい来ていたような式でした。

おもしろいのは披露宴会場で太陽を付けるのか付けないのかとか、当時の結婚式は引き出物の紙袋を両手に持って皆さん帰られていましたが、折りに鯛を付けるのか付けないのか、うちの爺さん婆さんで揉めてた記憶があります。

これからあと10年、今後とも健康でいて無事に金婚式を迎えたいなと願っております。今日は本当にありがとうございました。



出席委員会報告

石原委員長



28名(出席免除者含む)出席(全員で32名) 出席率87.5%
業務による欠席：日暮フェロー、福武フェロー、前田フェロー、湯下フェロー
ZOOMによる出席：藤本フェロー

幹事報告

梶幹事



- ・今週の12日(日)に地区大会があります。いつも通りバスを出しますが、順路に関してはラインで流します。出発が6時台になりますので皆様ラインをご確認いただければと思います。
- ・地区大会でのフードバンクの協力の依頼が来ています。ご自宅に缶詰等、寄付、寄贈したいというものがあれば、荷物になるかもしれませんがお持ちいただき、受付で回収という形になりますので、ご協力の方よろしく願いいたします。
- ・ラーニングセミナーのご案内
10月24日(金)12時からクレストホテルにて例会という形でラーニングセミナーが開催されます。終わりが3時位です。少し通常より長くなりますが、こちらもよろしくお願いします。



依田さんから卓話をしてという話をいただきまして、本当に去年1年間、世話になったならないっていうもんじゃなくて本当にお世話になって、そういう方が熱心に卓話をしてくださいとお言葉をかけてくださって断る理由がないということで、職業奉仕についてお話しさせていただきます。

私は35歳から白ばら幼稚園を星野邦夫先生からお預かりし今に至り、40数年やってきました。

僕は一言で言えば幼児教育の世界というのは初めてで、私の父も兄も医者でしたから、僕は数学が苦手だったので、医学部歯学部はあかんという感じで、その後、紆余曲折があり、35歳で白ばら幼稚園をお預かりすることになって、女房も先生をしたたもんですから2人で中央病院のすぐ下の600坪の土地にある幼稚園で50人位の園児達をお預かりしました。とってもあったかい感じのする幼稚園でした。

幼児教育なんて全く知らなかったものですから、最初は薪を燃すものがあって焚き火ばかりしていて、すぐ上の中央病院の保育所があって怒られたりしていました。

日にちが経つに従って、子どもと共にあることに幸せを少しずつ感じてきました。

毎年、夏休み、冬休み、春休み、年に3回、園長だよりというのを作っていました。最初の頃は手書きで、後の方はパソコンになってます。

1ヶ月位前に、ある教会の牧師先生が僕に幼児教育の話をしてくれということで、信仰と幼児教育の話を少しさせていただきました。

心が感動する、その先に道がある、という話で、人間は感動する心を与えられていて、すごいな!とか、美しいな!とか、泣けるな!とか様々な事象に毎日出会いますよね。その中で、感動する先に何があるかという、素晴らしい道がそなえられてる、そんなお話をしました。

まず幼稚園、キンダーガーデンというのは、フレーベルというドイツの方が作られました。

2010年10月に作ったものを少し読ませていただきます。秋のプレイデーというものに寄せてのお手紙です。

「今日はプレイデーの予行練習の日です。昨日までたくさん降っていた秋の長雨も今日は一休み。お日様も射してきましたよ。雨上がりの風の丘に吹く風は格別です。その風に誘われてきたトンボさんも丸い目を細めて木の枝のてっぺんで練習の始まりを待っています。

プレイデーに向かう秋の日々。

年中組のK君が毎朝、お母さんとやってきます。「おはようございます」と私と声を掛け合うと、すぐさま周りのトンボに目が行きます。「あ、いた」たちまちトンボさんはK君の手のお父さん指とお母さん指の間にはさまっています。

帰りもいつの間にか「先生、トンボ」

「少し遊んだらお母さん達の待っているお家に帰すんだよ」と私が返します。

毎日続くK君の満足げなにつこり笑顔です。

時々みんなと行動を共にできないこともあるK君ですが、もしかすると優しく包み込むようにトンボを持つK君の、誰も知らない優しさをトンボ君は知っていて身を委ねるのではないのでしょうか。天国のおじいちゃん、K君いいですよ。

かつて、愛、感謝、信頼、純真、この4つのテーマを実現すべく、フレーベルは世界で初めての幼稚園をドイツの地に作りました。彼はキンダーガーデン、子どもの園は命、生命に溢れた園庭にすべしと別名、森の幼稚園とも言われていました。

木々、虫、鳥、人達、およそ全ての命あるものが共に生き、関わり合う中で、命のないものに命をかし、言葉のないものに言葉をかす。すなわち、弱いものや物言えぬ者の気持ちがわかり、

そしてそこから湧き出てくる良き行いを胸に描いていました。

この地で6年目の秋、白ばら幼稚園の環境も保護者の皆様の熱心な力をお借りし、ようやくここまで整ってきました。

木々、虫、鳥、小さな動物、そして私達すべてが結集し、秋の1日、それぞれの成長をしっかりとこの目で見つめようではありませんか。

この純真な幼い子ども達目の見える確かな成長と、目に見えない確かな成長に皆で拍手が送れますように。そして愛の創造者である目に見える神に感謝し、保護者の皆さん、職員が力を合わせながら心温まる秋のプレイデーになりますように。

こういう文章を年に3回から4回書いて、これ位の量になり、ひとつひとつこの歳になって読み返すとありがたく嬉しい思い出がいっぱい蘇ってくるのが現状です。

話すべきことが数え切れないくらいいっぱいあるのですが、鈴木きよかさんというクリスチャンの職員が、海外の恵まれない子達に関心があって、ネパールや中国に行ったりして、その地の子ども達の幼児教育を見て、今、預かり保育の先生をしています。

宇井ひろこさんという人が、「世界の友達がみんな笑顔になりますように。悲しんでたら一緒に泣こう。喜んでたら一緒に笑おう。それが君と僕にできること。今、隣にいる僕の友達のために。今、この空の向こうの友達のために」こういう名曲を作ってくれました。こんなことも紹介しました。

私は教会でお話しさせていただいて、「心の震える先に道がある」というタイトルをつけました。心が震えるということは感動するということです。心を感動させる本体は愛。そんな話をしました。

例え話はいっぱいあるのですが、子ども達が残していった素敵な行いと素敵な事ごとを少し紹介します。

ゆうき君は今は20歳位ですが、お友達でふーちゃんという自閉症の女の子のお子さんがいました。幼稚園の時はいつも、ふーちゃんとゆうき君は同じクラスでお母さんが作ってくれたお弁当を食べて、幼稚園を卒業して、近所の湖北台小学校に2人とも行きました。湖北台小学校に行ったら、ふーちゃんは特殊学級で、ゆうき君は、どうして給食と一緒に食べられないのか、給食と一緒に食べられませんかと校長先生に談判しに行きました。その話を聞いた時、本当に嬉しかったです。

新しい園舎の話です。最初どこにしようかと思って、結局、市長から提案があって見に行ったら野原で草がぼうぼう生えてて、そこには蛇や鳥や虫や、あらゆる生きとし生けるものがいて、工事する時に全部追い出したっていうか、工事しますからいなくなったのですが、その後、命達が帰って来れるように本気で僕は考えて、広い土地に実のなる木をいっぱい植えて、きれいな井戸水がいつも流れるような世界を作って、ひとつひとつ、動物達にとって行き届いてない世界かもしれないけど、僕達の想いをそこに結集して、今の幼稚園は緑がいっぱいで水が流れています。僕は指示したり命令したりすることはないのですが、井戸水をきれいにしとね、ということだけは職員に話しています。

ひゅうが君という子が死んだトンボを持っていて、もう一匹トンボが来て僕が何気なく「このトンボのお母さんかもしれないね」と言ったら、ひゅうが君は大泣きしました。命の尊さ、生きとし生けるものが生きていける世界にいざなう、そういう一コマで、そんな話もさせていただきました。

ロータリーの中で同じような話を今までもしたかもしれないけど、いっぱい旅行をしたり、行動する中で忘れられない思い出が多々あります。

ひとつは尾上先生のお話です。

戦時中に大空襲で逃げ惑った時にひとりの小さな少女が「お兄ちゃん、お兄ちゃん、助けて、助けて」って言って、尾上先生はその頃、歯科大の学生だったそうですが、自分がその子を置いたまま逃げってしまったことを卓話で何回か聞かせていただいて、涙ながらに話されて、本当に申し訳なかったと悔恨されていたことを忘れられません。

ロータリーに入ってすぐの年か次の年に、井上先生にスリランカ行くぞ、と言われてスリランカに行きました。井上先生はスリランカのソーマワンサさんというお坊さんと知り合って、仏教徒とクリスチャンが一体になってスリランカに幼稚園を作ろうという話になって、マッチング・グラントという同額補助金も使って見事に幼稚園ができて、できたばかりの頃にスリランカに僕も行かせていただきました。

その時の現地の様子はすごかったです。僕達が道路を歩いていると、人達がずっとお迎えしてくれていて、その当時はスリランカには幼稚園はなくて、現地の人達の感謝の気持ちがこれほどまでに大きいのかと感動しました。

星野先生はフィリピンでハンセン氏病の治療にあたられました。

星野先生や井上先生は国際奉仕の草分けでした。

我孫子クラブにはそのような先人が他にもたくさんいらして、それを紐解いたり学び直したりすることも、我々がこれからしていけないといけない作業かもしれません。

足りないかもしれませんが、それを知っている僕のような人間がこうしてお話をさせていただくことも大事かもしれません。

あとひとつだけ、もう一回行かなきゃいけないと思っている所があります。

東日本大震災後に、何人かで現地のお見舞いに行こうということで東北に行って、志賀さんが大川小学校の前で手を合わせて慰霊をしたりしました。

海産物を買ったりとか僕達が何かをして差し上げるというより、向こうの方々の熱心なお迎えに対して、こんなにさせていただいて逆ですね、と仲間と話しました。ロータリーとして何をしてあげられるか分かりませんが、してもらいよりしてあげることを、もう1回行ってみて、そういう事をしてみたいと思っています。

先人達が残された良き行いを学び返して、無理のない範囲で僕らも何かをしていく、これからもロータリーの中で根付いて息づいて持続していく、そういう世界ができたらいいなと思っています。

職業奉仕ということで話をさせていただいていますが、ロータリークラブはいろんな方の仕事があって、私ももう77歳になりましたが、今までしてきたことは幼稚園経営が中心で、まだまだ知らないことがいっぱいあります。

職業奉仕、自分が仕事をして、こういう事ですごく感動したとか、ロータリーとしてこんな事もできるのではないかと、人々の為に何ができるかを模索して、皆さんそうやって生きておられると思いますけれども、1人でやるよりも仲間が手を取り合ってやった方が数倍、数百倍力になると思います。励ましあったり、慰めあったり、褒め合ったり、ロータリーというのは真剣勝負であるが故に我々はやっぱり好きになるんだと思うし、真っ直ぐに頑なに人のために、自分のために生きていくっていう使命がきっとあると思います。

とりとめのない話になりましたが、こんなところでお話を終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

閉会の点鐘

柳田会長

鈴木フェロー、卓話をありがとうございました。

閉会いたします。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金 額
柳田会長	鈴木フェロー 卓話 感動しました。ありがとうございました。	1,000円
梶幹事	鈴木フェロー 卓話ありがとうございました。	1,000円
荒井会員	鈴木フェロー 卓話ありがとうございました。	1,000円
石原会員	公三先生 心が震えるお話 ありがとうございました。	1,000円
小野会員	鈴木フェロー 良いお話をたくさん ありがとうございました。	1,000円
甲斐会員	ありがとうございました。	1,000円
上村(英)会員	鈴木フェロー ありがとうございました。	1,000円
川村会員	鈴木フェロー 卓話ありがとうございました。 小池フェローお誕生日おめでとうございます。	1,000円
木村(政)会員	鈴木公三先生 卓話ありがとうございました。	1,000円
木村(隆)会員	鈴木フェロー 卓話 有難うございました。	1,000円
倉持会員	鈴木フェロー 卓話ありがとうございました。	1,000円
小池会員	お誕生祝を頂きまして ありがとうございました。	5,000円
佐藤会員	鈴木フェロー 卓話ありがとうございました。	1,000円
鈴木会員	卓話をさせていただきました。	3,000円
関根会員	鈴木フェロー 卓話ありがとうございました。	1,000円
瀧日会員	鈴木フェロー 卓話ありがとうございました。	1,000円
寺井会員	鈴木フェロー 卓話ありがとうございました。	1,000円
野田会員	鈴木フェロー 卓話ありがとうございました。	1,000円
村越会員	祝2800回例会(前回の親睦例会ですが…)	1,000円
山本会員	鈴木フェロー 卓話ありがとうございました。 お祝いの方々おめでとうございます。	1,000円
依田会員	鈴木フェロー 職業奉仕の卓話ありがとうございました。	1,000円
米田会員	鈴木フェロー 卓話ありがとうございました。	1,000円



●今日のランチ

当日計	28,000円
今期累計	152,000円

今週の表紙「湖北小学校」千葉県我孫子市中里95番地

明治7年(1874年)開校の130年以上の歴史がある小学校です。昭和49年に創立100周年を迎えました。

湖北小学校は西原遺跡がある場所でもあります。1985~1998年(昭和60~平成10年)までに行われた発掘調査では、古墳時代から奈良・平安時代の集落跡が中心に確認され、土師器や須恵器等の土器が多く出土しました。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。